

UPM

Business-Oriented Network Management Solution

技術白書

(UPM 4. 1)

著作権所有© 2015 Colasoft LLC. すべての権利を留保する。本書の内容は、予告なしに変更されることがあります。本書の全ての内容は、Colasoft の書面による明確な許可無しに、いずれの目的のためにも、複写を含む電子または機械によるいかなる形式または手段によっても、転載、または拡散をしてはならない。

Colasoft は、ユーザーへの予告や通知なしに製品デザインを変更する権利を留保します。

お問い合わせ

電話番号

090-7197-9436

Sales

sales.jp@colasoft.com

技術サポート

support.jp@colasoft.com

ウェブサイト

<http://www.colasoft.com/jp/>

目次

はじめに	1
概要	1
UPM について	1
構成要素	1
フロントエンド	1
UPM センター	1
アーキテクチャー	1
技術ハイライト	2
ネットワーク環境の整理	2
リアルタイムなパフォーマンス監視	2
迅速にトラブルシューティング	2
デプロイメント	2
特長	4
ビジネスの集中監視	4
インテリジェンスアプリケーション整理	4
ビジネスロジックチャート	4
ビジネスの履歴解析	4
マルチセグメント解析	4
総合指標のクエリ	4
パケットのダウンロード	4
設定のプッシュをサポート	4
運用利点	5
ビジネス整理-ビジネス向けに積極的に解析	5
パフォーマンス監視-1 分間以内で問題を発見	5
トラブルシューティング-5 分間以内で問題点を特定	5

はじめに

対象読者

このユーザーガイドは、すべての Colasoft UPM ユーザーを対象として、作成されたものです。

概要

Colasoft UPM は Colasoft によって開発されるビジネス向けのパフォーマンス管理ソリューションです。

UPM について

ビジネスのネットワーク依存度が進んでいる中、コアビジネスとネットワークシステムは統合する傾向があります。コアビジネスと、ビジネスシステムを支えるネットワークシステムは急速に発展し、ビジネスとネットワークの管理も一層複雑になっています。ネットワークインフラストラクチャ、関連のアプリケーションシステム、データベース、およびセキュリティ保障システムの運用・保守を含むネットワークシステムの運用・保守は極めて重要な仕事となります。ネットワークシステムの運用・保守は、最後にはコアビジネスアクティビティと完全に統合するでしょう。

ビジネスネットワークに基づくパフォーマンス管理システムとして、Colasoft UPM は、ビジネスパフォーマンスとネットワークの運用・保守を密接に結び付けることで、ビジネスを中核としたネットワークの運用・保守能力及びトラブルシューティングの効率を向上させ、ビジネスパフォーマンスを高めることができます。

構成要素

Colasoft UPM は nChronos サーバー（「フロントエンド」とも呼ぶ）と UPM 解析センター（以下は「UPM センター」と呼ぶ）から構成されています。

フロントエンド

フロントエンドデバイスはビジネスシステムの通信リンクにおける重要ノードに配置され、スイッチポートミラーリングまたはネットワークタップを通じて、ビジネス通信データをキャプチャーします。フロントエンドは、パフォーマンス指標パラメータとアプリケーションアラーム情報をリアルタイムに収集、解析し、管理インターフェースを介して UPM センターにアップロードします。

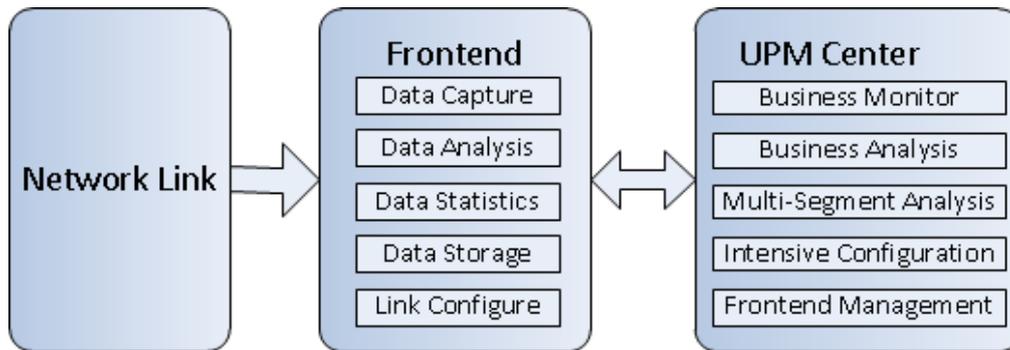
UPM センター

UPM センターはフロントエンドデバイスを集中管理するために配置され、フロントエンドがアップロードされたビジネス性能指標およびアラーム情報を統合解析し、その解析結果を表示します。

アーキテクチャー

UPM センターは B/S (Browser/Server) アーキテクチャーを利用して、定期的なハートビートでフロントエンドと通信し、全体ネットワークを集中的に監視、管理します。

UPM センターとフロントエンドの機能アーキテクチャーは下図のように表示されます。



技術ハイライト

UPM は、ビジネスネットワークの運用・保守効率とトラブルシューティング能力を最大限に高めることを目的として開発され、ビジネスネットワークに基づき、ビジネスを中核としたネットワーク環境の整理、リアルタイムなパフォーマンス監視、迅速なトラブルシューティング機能を提供します。

ネットワーク環境の整理

ビジネスシステムに基づき、解析設備を配備し、解析方策を作成し、積極的にビジネス状況を解析します。物理的なネットワークを対象とする運用・維持モードを、ビジネスネットワークを対象とする運用・維持モードにアップグレードします。

リアルタイムなパフォーマンス監視

ビジネスネットワークのパフォーマンスを監視し、リアルタイムにビジネスパフォーマンスに影響する異常を検出します。

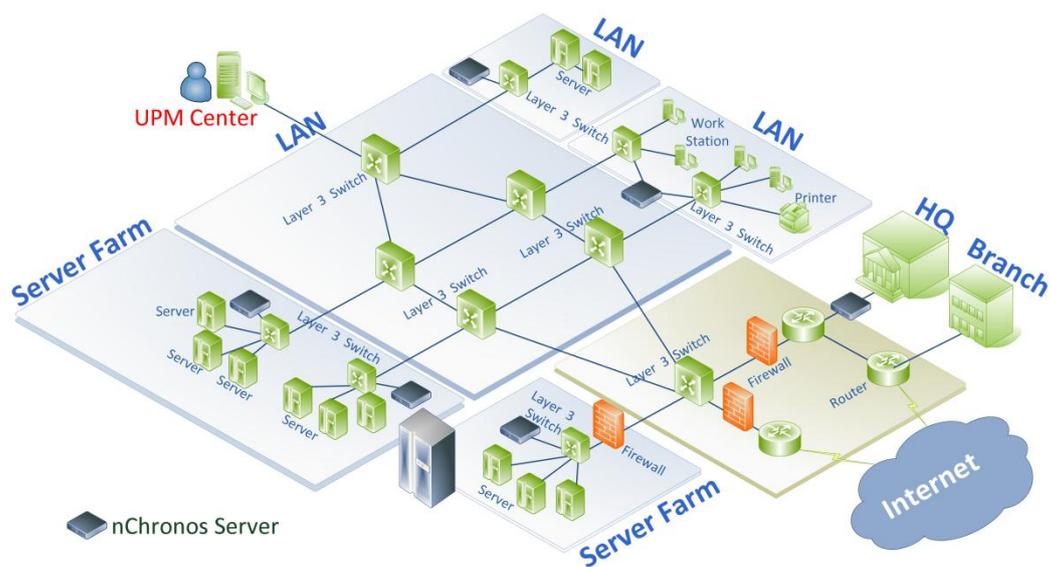
迅速にトラブルシューティング

ビジネスシステムに基づくグラフィカルな解析ビューと、ビジネスロジックチャートにおけるパフォーマンス異常アラームの相関的な表示を利用して、迅速かつ正確に問題点を特定し、トラブルシューティング効率を上げます。

デプロイメント

Colasoft UPM は「分散配備、集中管理」というデザインコンセプトに基づき、開発されています。ネットワークトラフィックのキャプチャーと解析のために、監視したいネットワークリンクにフロントエンドを配置します。UPM センターは各ネットワークリンクに配置されたフロントエンドを集中的に管理し、フロントエンドにアップロードされた統計データをグラフィカルに表示します。典型的なデプロイメント例を下図に示します。

UPM の典型的なデプロイメントは下図のように表示されます。



特長

ビジネスの集中監視

ビジネスの集中監視ページで各ビジネスの運行状態をグラフィカルに表示することで、ユーザーは迅速に異常のビジネスを発見することができます。

インテリジェンスアプリケーション整理

フロントエンドにアップロードされたサービスアクセスデータに基づき、ネットワークにおけるホストとサービスのアクセス関係をグラフィカルに表示します。アクセス関係図を通じて、アプリケーションを素早く定義し、整理することができます。

ビジネスロジックチャート

ユーザーは実際のビジネス関係により、ビジネスロジックチャートを定義することができます。ビジネスにおけるアプリケーションにトラブルが発生するとき、ビジネスロジックチャートでハイライト表示されます。これを利用して、ユーザーは迅速に問題点を特定することができます。

ビジネスの履歴解析

ビジネスの履歴データをクエリすることで、トラブル発生時の状況を迅速に再現し、問題解析とトラブルシューティングに役立てます。

マルチセグメント解析

単一アプリケーションのマルチセグメント解析を提供します。ロスセグメント、再送信、および他のトラブルが発生した場合、関連のフロントエンドからそのアプリケーションのデータを抽出して、比較解析を行います。

総合指標のクエリ

UPMは、アプリケーション、サーバーおよびクライアントの指標をクエリして、グラフィカルに表示する機能を提供します。ユーザーは異なる指標間の比較クエリと異なる時間帯における同じ指標の比較クエリを行うことができます。

パケットのダウンロード

UPMでは、アプリケーションおよびアプリケーションパスに基づいて、パケットをダウンロードすることができます。

設定のプッシュをサポート

アプリケーション、アラームおよびネットワークセグメントの設定は自動的にUPMセンターからフロントエンドにプッシュさせることができます。

運用利点

Colasoft UPMは、ネットワークスマート解析に基づくソリューションで、ビジネスネットワーク通信のスマート解析をもとに、独自に解析データをキャプチャーし、他のシステムに影響しません。UPMは、ビジネスシステムを支えるネットワーク転送、ホストサービス、アプリケーションレスポンス、およびトランザクション処理に関する包括的なパフォーマンス解析パラメータを提供し、ビジネスネットワークを集中的に監視・解析能力を持っています。

ビジネス整理-ビジネス向けに積極的に解析

ビジネスを支えるアプリケーションサービス、ホストシステム、ネットワークパスを整理し、論理的な関係を構築します。狙いのある監視解析方策とアラーム方策を立てます。

パフォーマンス監視-1分間以内で問題を発見

ビジネスネットワークにおけるアプリケーションレスポンスのパフォーマンス、ホストサービスのパフォーマンス、ネットワーク転送のパフォーマンスおよびトランザクション処理のパフォーマンスをインテリジェンスに解析し、統合されたビジネスネットワークパフォーマンス監視ビューを提供します。

トラブルシューティング-5分間以内で問題点を特定

ビジネスの論理的な関係に基づくグラフィカルな解析ビュー、パフォーマンス異常アラーム、重要なパフォーマンス指標、マルチセグメントの比較データをグラフィカルに表示したり、ドリルダウンしたりすることで、迅速にトラブルシューティングすることができます。